

「道の駅」計画...大きな不安残したまま「施設拡大」か くらし・健康・子育て・農業応援の予算を

3月議会の最終日
23日(金)9時開会
どなたも傍聴できます

平成24年度の予算などを審議してきた3月議会は23日最終日を迎えます。この日は付託した議案について各常任委員長の報告、討論、採決などが行われる予定です。9日の予算決算常任委員会では否決となった平成24年度一般会計予算の成り行きが注目されます。みなさんの傍聴をお待ちしています。

9日開かれた予算・決算常任委員会(建部議長以外の11人)で、平成24年度一般会計予算案が賛成少数で否決となりました。反対したのは西澤議員に加え、山田、濱野、野瀬、西川、丸山の計6議員。賛成は宮崎、木村、藤堂、阪東の4議員(金澤議員は委員長のため採決に加わらず)でした。
23日に開かれる本会議での成り行きは、否決されるかどうかは未確定ながら、波乱含みの展開が予想されます。

西澤議員「くらしを守る予算の優先を」

西澤議員は委員会の討論で、介護保険や高齢者配食サービス、学童保育などの町民負担は引き上げる一方で、体力のある関電・N.T.Tの電柱道路占有料金は引き下げで理解が得られない。また、直売所「せせらぎの里」整備事業に約1億6千万円、関連する道路整備に1億百万円、合計で約2億6100万円もの投入は不安要素が払拭できない中での「ハコモノ優先」とならざるを得ない、と指摘。

24年度町民負担が増える一例

介護保険料
基準額月 4100円 5540円
高齢者配食サービス自己負担
300円 450円(ご飯有) 400円
(ご飯ナシ)
放課後学童保育
時間延長:月 1000円(新設)

民合意をすすめるよう提起しました。

“もっと大きな建物を”

一方、委員会で山田議員、濱野議員は「商工会の補助金を減額した」「道の駅・直売所計画は成功するとは考えられない」などの理由をあげて反対討論しました。濱野議員は質疑の中で、今回建設する販売面積は小さく、これでは売上が伸びない。収益を上げるにはもっと大きな面積を「などと発言。

一部の議員が以前から、客集めのための遊園地をつくれ、などと主張していること考えあわせると、道の駅計画は山崎前町長時代のように経営責任の未確立、農産物などの出荷力・体制や町民合意を無視して「大規模化」を求めている見地だと考えられます。つまり、ハコモノは優先の一方で、商工会の補助金を増やせ、というのは矛盾した主張と言わねばなりません。委員会での「予算否決」を受け、北川町長がどのように対応するか注目されるそうです。

私たちは、今後とも、くらし・子育て・農業応援の施策が充実されるようがんばります。

宮崎議員が辞職願

16日、急きよ本会議が開会され、「宮崎議員の辞職願」が議題となり、賛成全員で許可されました。西澤議員は採決を棄権するに当たって次のように発言。

15日付けで異議申し立てが棄却されたと聞く。近々失職の可能性がある議員の辞職の議会議決が法的に有効となるものか疑問が残るため退席する。同時に宮崎議員の申し出は受け入れたい。宮崎議員から受けた暴行や山崎前町長の疑惑を伏せようとした行為は決して容認できないことは以前も発言した。しかし、官製談合疑惑解明のための法廷や百条委員会での証言、活動を改めて評価し、立場は異なるが苦しく不利な状況下でたまたましたことに対する慰労の念を表明する。今後は、この恐喝未遂事件の元となった官製談合問題の刑事責任がしっかりと問われるよう運動を強めたいと思う。

日本共産党甲良町支部の見解を紹介します。

くらし・医療・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123
メール siga-koura463@jcp-nobuaki.com ホームページもごらんください



甲良民報

2012年3月18日 505号
発行責任:日本共産党甲良町支部
連絡:甲良町在土463(西澤)
Tel.Fax38-4949